

令和5年度
認定 NPO 法人さわおとの森
事業・活動計算報告

令和5年度事業報告について・・・・・・・・・・ P 1

令和5年度活動計算報告について・・・・・・・・ P 3 5

令和5年度貸借対照表について・・・・・・・・ P 3 9

令和5年度財産目録について・・・・・・・・・・ P 4 0

令和6年度 認定NPO法人さわおとの森 事業報告

・法人事業の総括

令和5年度の離職率(9.7%)では、これまでにない危機を感じ、昨年度はその対策を検討してきたつもりでありましたが、令和6年度は更にそれを上回る傾向(10.5%)が示されました。退職理由の内訳は、定年退職・家族の都合・体調不良など挙げられますが、残りの4割の職員は、転職を希望されて退職願が出されました。これまでの離職率は数パーセントに留まっていたところから、一気に跳ね上がる傾向を見せ、その半数近くが自身の仕事に対しての不満や不安など、持続を可能とする就業に至らない結果を見出して転職を示したものと推測されます。これは、法人事業を運営していく中で大きな危機を示唆するものと判断し、潜んでいる問題の原因の究明や解決に向けて全力で取り組んでいかなければならないと考えております。また、退職者数に対して大学新卒者等の応募数の伸び悩みが年々進んでおり、定員割れの部署も生じ、他の事業所のヘルプ要請や人材派遣会社起用の対策など講じていくスタートを余儀なくされる事態となっております。その中で一筋の希望として、法人が昨年度受け入れた社会人実習生から実際の現場の体験により入職の希望が示され、今年度4月～6月にかけて3人の社会人実習生が入職となっております。これまでのように、有料就職サイト等による求人票掲示を見ての応募という形から個人が直接オンラインや実習などを通してリサーチしていく就職活動も多様化が示す現状を感じております。多様な間口からリサーチして個人で選択するという就活の現状において、やはり魅力的な職場を示していかなければならないというシビアな直面に晒されてきているような気がいたします。これにも増して、ご利用者、ご家族、そして職員が満たされる事業所となるよう目指していきたいと感じております。

もう一点、大きな報告といたしまして、職員の示す行動の中で行き過ぎた態度や言動が第三者の目から見て虐待行為に値するという通報の案件が生じました。この件については、一昨年度ならず、昨年度までもこのような不適切な行為があったことに対して、法人としても深く反省し厳重に指導しました。更に、この反省を法人全体で共有し今後も改善に向けた対策に取り組んでいかなければならないことを痛感しております。一本一本絡まった糸をたぐり寄せて根気よくほどこしていかなければならず反省や分析、今後の対策などを講じながら具体的な改善策を昨年度11月より実行に移しているところであります。

この一連の深い反省から抜本的な改善を目指し、この対策を実行し具現化することは、冒頭で報告いたしました職員の離職率の問題の解決の糸口にも繋がってくるように思います。地域福祉のより一層の貢献に努め、また、職員一人ひとりが仕事を通して得られる達成感や充実感、自己成長によって生きがいを感じていく仕事に繋げるためにも、全体の業務の見直しなど問題提起を重ね、改善対策に努めていくことが、ひいては職員の定着率にも良い影響を及ぼしていくものと考え、今後この2つの課題に向けて一意専心に取り組んで参りたいと思います。

1. 総会に関すること

実施時期	内 容
5月27日	定期総会 ○令和5年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録

	○監査報告 ○令和6年度事業計画（案）・収支予算（案） についてすべて承認されました。
--	--

2．理事会に関すること

実施時期	内 容
5月27日	第1回理事会 ○令和5年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録 ○監査報告 についてすべて承認されました。
3月21日	第2回理事会 ○令和6年度事業計画（案）・収支予算（案） についてすべて承認されました。

3．届出に関すること

実施時期	内 容
6月4日	宮城県環境生活部共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班へ下記を届出 ○事業報告の届出 提出書類：役員報酬規程・職員給与規程・認定NPO法人関係書類 令和5年度事業報告・活動計算書・財産目録・貸借対照表 前事業年度の役員と報酬を受けた役員の名簿 社員のうち10人以上の者の名簿

4．広報に関すること

（1）広報さわおとの森

発行月	内 容
5月	法人広報誌「広報さわおとの森」第35号作成・配付約940部 （法人内全事業所の職員紹介と事業紹介、その他）
1月	法人広報誌「広報さわおとの森」第36号作成・配付約810部 （法人内全事業紹介、助成・寄付報告、入職1年目を振り返って、中途採用者紹介、その他）

（2）ホームページブログ更新

掲載月日	内 容
5月27日	塩竈市ひまわり園の活動報告
7月10日	東北ろうきん様からの寄付金御礼
7月22日	多機能サポートランドさわおとの森“短期入所”活動報告
8月28日	多機能サポートランドさわおとの森“くるみ”の活動報告
9月26日	利府こども発達センター“あのね”の活動報告
2月20日	多機能サポートランドさわおとの森“居宅介護・行動援護”の活動報告

2月21日	こども発達センターあかいしの森“むーとん”“ぴーす”の活動報告
3月25日	塩竈市ひまわり園の活動報告
3月28日	多機能サポートランドさわおとの森“わのみ”の活動報告

5. 全体研修に関すること

(1) 法人職員を対象とした人材育成研修や、法人運営にかかわる研修等参加

実施日	名 称	講 師	人数
9月25日	摂食・嚥下について	菅原栄養士、岩崎言語聴覚士	26
11月27日	法令遵守について	高橋専務理事	22
1月14日	体と心を育むあそび～生活の中でできるあそびと工夫	工藤作業療法士、坂本理学療法士	35

(2) 新人職員人材育成研修（令和6年度新規採用職員3名、中途採用者5名実施）

実施日	名 称	講 師	人数
3月25日～	令和6年度新規採用者研修	代表理事・専務理事、各園管理者	5
6月20日	茶話会(メンタルケア)	齋藤代表理事	15
8月27日	健康管理、先輩職員との茶話会	大橋かほる保健師、中堅職員3名	20
10月23日	身体拘束・虐待防止、茶話会	渡部統括主任、伊藤統括主任	18
2月13日	一年間の振り返り	齋藤代表理事	11
3月24日	令和7年度新規採用者研修	代表理事、専務理事、各園管理者	9

(3) 動画視聴プログラムを活用した人材育成研修

今までの集合研修のみでは全職員の参加が難しく、研修時間の確保やスキルの獲得に課題がありました。株式会社 Lean on Me が提供するオンライン研修サービス Special learning を導入、全職員に専用アカウントを付与、毎月決められたテーマに関する動画を視聴を促し、各園管理者が適宜チェックする仕組みをつくり運用しました。

対象月	コンテンツ名
7月	障害福祉 BCP～作成の手順とこれからの防災
8月	「性」をキーワードとした研修
9月	フリーチョイス
10月	利用者の健康を守り / 事業所の新型コロナ対策
11月	虐待防止が“義務化”へ（専務理事セレクション）
12月	フリーチョイス
1月	身体拘束を適正化する意義
2月	虐待防止のためのストレスマネジメント（代表理事セレクション）
3月	フリーチョイス

(4) 他法人を含めた職員を対象とした強度行動障害支援者養成研修（宮城県指定）の実施

実施日	項 目	受 講 者
7月3日 (オンライン)	基礎研修	当法人：5人 他法人：24人（宮城東部、黒川、仙台、名取、登米、美里）

7月6日 (集合研修)		
7月17日 (オンライン) 7月20日 (集合研修)	実践研修	当法人：5人 他法人：24人（宮城東部、黒川、仙台、名取、登米、美里）

（５）サビ管・児発管研修

実施日	名 称	受講者	人数
2月18日～19日 20日～21日	更新研修	藤原洋子、佐々木正美、川口真奈美	3
8月22日～23日 26日～27日	実践研修	相澤順一、早坂祐二	2
12月2日～13日 16日～22日 24日～25日	基礎研修	津田加奈、宮下麻美、佐藤佳菜子	3

6．全体会議に関すること

（１）管理者会議

定例議題：各事業所の運営報告

実施日	内 容	人数
4月17日	部門編成、理事会・総会、広報35号、パート職員雇入れ時健康診断費用負担、さわおと倶楽部、その他	10
5月13日	理事会・総会、職業能力評価、相談支援従事者研修・サービス管理責任者研修推薦者検討、その他	10
6月19日	令和5年度運営指導、事故再発防止のための指針、事故報告書、令和6年度賛助会費、その他	9
7月18日	虐待防止委員会報告、ストレスチェック、事故発生防止のための指針、東北労働金庫寄付金、スペシャルラーニング、専門的支援加算、グループホーム連絡共有、その他	11
8月21日	職能評価・自己評価、産業保健師派遣、ブログ検討の意見集約、その他	10
9月18日	原油高騰の補助金、部門の再編、サビ管・児発管の基礎・実践研修受講、ひまわり園（放デイ）事業継続要否、虐待防止と身体適正化委員会開催、人材育成研修開催、ブログ・広報紙掲載による個人情報流出、支援プログラム公表、パート職員・契約職員年次有給休暇取得、その他	10
10月16日	来年度の採用状況、ヒヤリハット・事故報告の共有、産業保健師との健康個人面談、人材育成研修、ホームページから広報データ削除、その他、	10
11月20日	虐待案件進捗、人材育成新人研修・集合研修、Special Learning（動画研修）年賀状、その他	11
12月18日	虐待案件進捗、職業能力評価（管理者ヒアリング）広報36号、その他	10
1月15日	虐待案件進捗、職業能力評価（法人評価）理事会資料の取りまとめ、事業所自己評価、支援プログラム、Special Learning（動画研修）新規採用者研修、個人情報取り扱い、大型修繕・備品購入希望、その他	11
2月19日	虐待防止委員会研修報告、新規採用者研修、個人情報データの取り扱い・管理、次年度辞令交付式、虐待指摘事項の回答提出、その他	11

3月19日	県の集団指導、ワムネット更新、法令遵守、stock導入、令和7年度健康診断	9
-------	---------------------------------------	---

(2) 統括主任会議 (実施無し)

(3) 看護師情報共有会議

実施日	内 容	人数
4月30日	各園勤務体制の確認、利用者情報共有	5
6月24日	感染症対策指針について、熱中症対策について、利用者情報共有	4
8月30日	夏休みの振り返り、インフルエンザ集団接種について、利用者情報共有	5
10月21日	5類感染症対応についてお知らせとマスクの着用について、インフルエンザ集団接種について、吐物処理について、利用者情報共有	5
12月17日	感染症対策指針について、インフルエンザ集団接種総括、吐物処理研修について、利用者情報共有	5
2月28日	令和6年度総括、利用者情報共有	5

7. 労働安全衛生に関すること

毎月事業所ごとに職場点検チェックを行うとともに、4事業所を巡回しての定例的に労働安全衛生委員会を行い、職場環境の点検、改善策等を話し合った。

○委員：高田産業医・小野安全管理者・早坂衛生管理者・各園管理者・職場代表

実施日	巡回相談場
6月5日	塩竈市ひまわり園
7月16日	利府こども発達センター
7月31日	こども発達センターあかいしの森
8月21日	多機能サポートランドさわおとの森
9月18日	利府こども発達センター
10月2日	塩竈市ひまわり園
10月20日	こども発達センターあかいしの森
11月6日	多機能サポートランドさわおとの森
12月4日	塩竈市ひまわり園
12月18日	利府こども発達センター
1月15日	こども発達センターあかいしの森
3月5日	多機能サポートランドさわおとの森

8. 虐待防止と身体拘束等の適正化委員

外部委員として嘱託医の高田子ども医院、院長高田修医師にも定期的に参加いただいた。

○委員・責任者：各園統括主任、管理者

○外 部 委 員：高田医師

実施日	内 容
5月1日	顔合わせ、年間計画・構成員について、役割について
5月29日	今後の委員会の方向性、研修内容の検討等 通報案件、事故、ヒヤリハット等についての振り返り、対応の検討 日常的な支援現場の把握と課題の報告
7月2日	通報案件、事故、ヒヤリハット等についての振り返り、対応の検討

	日常的な支援現場の把握と課題の報告
9 月 18 日	通報案件、事故、ヒヤリハット等についての振り返り、対応の検討 日常的な支援現場の把握と課題の報告
10 月 23 日	新人向けの研修会実施
11 月 19 日	通報案件、事故、ヒヤリハット等についての振り返り、対応の検討 日常的な支援現場の把握と課題の報告 新人研修実施報告 / 虐待防止研修内容検討
1 月 29 日	外部委員：高田先生による研修会実施

9．さわおと地域食堂に関すること

【実施状況】

地域社会福祉活動の推進と令和4年度より新設した多機能サポートランドさわおとの森の施設を有効活用することを目的に、令和5年3月より3か月に1度さわおと地域食堂を開催して参りました。

沢乙地区・館地区とその近隣のエリアを対象に子どもから大人まで幅広い年代の方々に参加していただき、無料メニューを提供しました。また、他の福祉事業所やボランティア、キッチンカーにも協力いただき、さわおと地域食堂を盛り上げていただいております。第4回から利府町社会福祉協議会に協力いただきボランティア教室を開催いたしました。地域のボランティア人材育成の一端を担っております。

令和7年度も開催を予定しております。

【実施日時・申込人数】

開催日	開催時間	申込人数	無料提供メニュー
6 月 1 日 (土)	10 : 30 ~ 14 : 00	7 7 人	カレーライス
9 月 14 日 (土)	10 : 30 ~ 14 : 00	5 6 人	ミニうどん・いなり寿司
12 月 14 日 (土)	10 : 30 ~ 14 : 00	4 3 人	おでん・おにぎり
3 月 22 日 (土)	10 : 30 ~ 14 : 00	8 6 人	ホットドック・ポテト・スープ

【協力事業所】

NPO法人ふうどばんく東北AGAIN様・HAPPY COLORS様・ボランティア木村様・社会福祉法人みんなの輪わはわ大衡様・わはわ味明様・パン工房わはわ様・バルーンアート工房カラービーンズ様・ヤクルト様・ベアーズカフェ様・一般社団法人松島のかぜ様・利府町社会福祉協議会様・利府町民生委員様・利府町地域おこし協力隊様・利府高校JRC部様

・多機能サポートランドさわおとの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 放課後等デイサービスくるみ(放課後等デイサービス事業)

【実施状況】

様々な活動を提供しながら、利用者個々の能力向上を図り、集団行動や社会体験外出を通して社会適応能力の向上に努めてきました。

地域の文化施設の利用や社会体験できる場を通して子どもたちと共に地域の中で活動することを意識して活動してきました。また、SST(ソーシャルスキルトレーニング)などの活動を行うことで、成人期への社会適応能力向上を意識した活動を行っていました。定期的に運動療育を行うことで利用者個々の能力向上も目指しています。

夏休みには、デイとショートステイが連携して「くるみ」を実施いたしました。日中は活動でコカ・コーラ工場へ外出して夕方からショートステイに入り、花火大会やお楽しみ上映会等を行いました。

普段は色々な年代の方がお泊りするショートステイですが、デイの子ども達がお泊りすることや、普段ショートステイを利用されていない方も、行事があることでお泊りする事ができ、利用児やご家族からも好評の企画となりました。

室内活動

制作 季節の催事に合わせた制作を実施
春の壁面制作、夏の壁面制作、秋の壁面制作、冬の壁面制作、母の日制作、ハロウィン制作、クリスマス制作、書初め、節分制作、ひな祭り制作

クッキング 餃子の皮ピザ、フルーツパフェ作り、お好み焼き 他

音楽活動 音楽プログラム、リトミック 他

運動 体力づくり坂のぼり、運動会、集団遊び、雪遊び、ミッションゲーム、なわとび、春探し散策 他

感覚 フィンガーペインティング、スライムづくり 他

その他 避難訓練、ハロウィンパレード、大掃除、クリスマス会、豆まき会、ひな祭り会、他

屋外活動

外出先 奥松島縄文村歴史資料館、公園散策、神社 他

社会体験 初詣、買い物体験 他

行事

4月(お花見) 5月(母の日) 7月(七夕会) 8月(夏休み遠足) 9月(お月見) 10月(ハロウィンパレード) 11月(焼き芋会) 12月(クリスマス会) 1月(初詣、伝承遊び) 2月(豆まき会) 3月(春休み遠足)

くるみだより、写真集の作成・配付

くるみだよりでは翌月の活動予定等を掲載し、写真集では利用者一人ひとりの活動の様子を掲載し、利用者並びに家族に配付

【開所日数】239日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和6年度	実人数	27	27	27	27	27	27	
	延人数	178	180	160	199	160	158	
令和5年度	実人数	25	25	26	26	26	26	
	延人数	150	171	182	172	173	163	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和6年度	実人数	27	27	27	27	27	27	324
	延人数	181	158	161	152	166	160	2,013
令和5年度	実人数	27	27	27	27	27	27	324
	延人数	172	168	151	151	163	161	1,977
【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・児童指導員2人・指導員1人 保育士2人・看護師1人								

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) 生活介護のみ（生活介護）

【実施状況】

生活介護の日常は、毎日の生活日課と余暇時間を調整しながら個別支援計画に基づいた自立課題や体力づくり、機能維持向上、技術の習得などを目的とした活動や取り組みを中心としています。今年度もリハビリを意識し、午後の活動前にリハビリ体操を実施しています。スタッフも援助しながら、意識的に体を動かすことで継続的な体の機能維持を試みています。

その他、感染拡大防止や感染症の動向をみながら行事等も出来るだけ全員で参加できる方法や家族も参加出来る内容に設定、とても喜んで参加されていました。

上記の活動と関連付け、健康・医療面としては、年1回の集団健康診断の実施や嘱託医である高田医師との相談の機会を2回実施しました。（利用者向け、職員向けの相談）法人内に在籍する看護師とも連携を取って、利用者一人ひとりの状態を把握することが出来るように整備、また、昨年度に引き続き専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）の指導日も設定し、栄養士・調理師とも連携して摂食時の個別リハビリを継続しています。

【主な行事】

4月 お花見外出	10月 芋煮会（家族参加型）
5月 ピクニック行事、健康診断	11月 ミニ体育祭（家族参加型）
6月 わのみ喫茶（保護者向け）	12月 クリスマス会
7月 水遊び	1月 初詣週間、わのみ喫茶（保護者向け）
8月 七夕週間、医療相談（利用者向け）	2月 豆まき会、医療相談（職員向け）
9月 日帰り旅行、	3月 思い出旅行

【開所日数】250日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和6年度	実人数	20	20	20	20	20	20	
	延人数	392	394	371	437	357	391	

令和5年度	実人数	20	20	20	20	20	20	
	延人数	362	372	404	392	385	385	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和6年度	実人数	20	20	20	20	20	20	20
	延人数	437	387	373	376	333	371	4619
令和5年度	実人数	20	20	20	20	20	20	20
	延人数	412	402	398	327	338	396	4573
【スタッフ数】管理者1人・サビ管1人・生活支援員9人・看護師1人・嘱託医1人								

(2) ショートステイ（短期入所事業）

【実施状況】

ご本人の自立に向けた経験づくりや、ご家族の介護負担を和らげるために、自宅以外での宿泊としてショートステイをご利用いただいています。

令和6年度も重度障害や強度行動障害を持つ方々への支援において、専門的な知識と技術の向上に努めてきました。

見学者数、契約者数は共に増加傾向が見られにあり、ご予約のお取りづらい状況下ではありましたが、ご家族の方にもご理解・ご協力いただき、皆様に引き続きご利用いただいています。

【主な行事】

7月：BBQ,花火大会

8月：プチ旅行（放デイくるみコラボレーション企画）

9月：秋の遠足

10月：芋煮会

【実施日数】352日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和6年度	実人数	147	147	148	154	154	153	
	延人数	602	567	620	650	576	632	
令和5年度	実人数	140	140	138	142	136	138	
	延人数	618	609	620	645	582	610	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和6年度	実人数	146	152	143	136	138	145	—
	延人数	632	602	563	525	564	610	7143
令和5年度	実人数	138	144	140	139	139	151	—
	延人数	617	600	569	546	558	619	7193

【スタッフ数】生活支援員18人（他事業所兼務）

(3) 居宅介護・行動援護

【実施状況】 居宅介護では令和5年度ではコロナ不安も次第に和らぎ、利用者との外食支援も再開させています。医療機関の対応も定まってきたことから利用再開する利用者が徐々に増								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

えてきた印象を受けます。

行動援護は、支援者と1対1のサービスということで需要が高く、「心身の健康維持のための散策」を主軸に据えて支援を継続しています。本人・ご家族様より外食や公共交通機関を利用しての外出希望もあり、安全対策を講じながら活動してきました。中でも、短期入所のサービスや日中活動の事業所の組み合わせでは対応しきれない緊急的なサービス利用をつなぐ形で活用し、新規利用の見込みも含めて利用希望は増加傾向にあります。また、法人で強度行動障害支援者養成研修を実施していることで業務対応できる資格を取得するスタッフも増えており、今後一層の活躍が期待されています。

【実施日数】315日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和6年度	実人数	18	16	18	17	15	17	
	延人数	31	48	55	52	47	50	
令和5年度	実人数	20	15	19	17	16	16	
	延人数	34	34	35	40	32	36	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和6年度	実人数	17	16	16	14	14	18	
	延人数	55	48	47	48	49	55	
令和5年度	実人数	19	20	18	18	17	17	
	延人数	37	44	42	41	33	35	

【スタッフ数】他事業と兼務

(4) 市町村事業

日中一時支援事業・移動支援事業

【実施状況】日中一時事業 実施なし 移動支援事業 なし

3. 付随事業

(1) 職員の研修等に関すること

実施日	名 称	場 所	人数
5月24日	OJT 指導者養成研修	県社協(集合型)	2
5月31日	差別解消法	集合型	2
6月29日30日	障害者虐待防止研修	県社協(オンライン)	1
7月3日	救急救命研修	集合型	3
8月22日	強度行動障害(実践研修)	集合型	2
9月24日、25日	新任職員研修	県社協(集合型)	2
11月6日	業務改善研修	県社協(集合型)	2
11月14日	吐物処理研修	園内	3
12月10日	ボランティアコーディネーター研修	集合型	2

(2) 職員会議に関すること

全体職員会議(研修)

実施日	内 容
-----	-----

4月2日	虐待防止に関する研修
5月21日	家族の思い(わのみを選んだ理由、思い)
6月10日	外部講師による「メンタルケア」の研修
7月2日	外部講師による「意思決定支援」の研修
8月27日	くるみ支援に関する事例検討会
9月25日	ショートステイに関する事例検討会
11月19日	わのみの事業について再共有。園内伝達研修「差別解消法」
1月18日	eラーニングを活用した発達障害児へのサポートとサポートの背景と変化に関する研修
3月18日	ショートステイの事例検討からの進捗報告、各部署より今年度の振り返り、来年度目指すもの、園内伝達研修「権利擁護」

各事業支援会議

内容
個別支援計画、利用者情報共有、専門職指導内容、活動、行事、その他 くるみ・わのみは毎月、ショートステイは1回/3か月、居宅えいむは1回/4か月に実施

給食会議

実施日	内容
5月15日	反省点、利用者食形態の確認、新型コロナウイルス感染対策と予防について
9月6日	食品衛生、手洗いについて、利用者情報の確認
11月5日	反省点、献立について、利用者食形態の変更と確認
2月14日	反省点、献立について、調理シフトについて、利用者のアレルギーについて

(3) 防災に関すること

実施日	内容・参加者
6月12日	総合防災訓練の実施(避難訓練、消火訓練、通報訓練) 北斗防災による非常ボタンの操作説明
9月19日	北斗防災による消防設備安全点検
10月15日	総合防災訓練実施(避難訓練、消火訓練、通報訓練、消防士による評価) 北斗防災による非常ボタンの操作説明
2月27日	北斗防災による消防設備安全点検

(4) 広報に関すること

くるみ便り・わのみ便りを月1回、それぞれ発行・配付し、活動状況の報告と次月の予定・計画等を家族へ伝達した。また、さわおとNEWSを年2回発行・配付し体制等の報告をした。
--

・塩竈市ひまわり園

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援事業ひまわりキッズ(児童発達支援事業)

【実施状況】

今年度は新規ご利用が6人、継続利用児と合わせる19人の契約になりました。長期入院でがんばっていた友だちもいました。幼稚園や保育所との併用利用が引き続き多く、保護者の交流と療育への理解を深めるために、勉強会やワークショップを開催しましたが、冬になるとどうしても体調を崩し休みが多くなり、勉強会の参加も予定通りにはいきませんでした。就学については好評で、学校入学に向けては不安や心配があることが分かりました。

令和7年3月には8人が卒園し、小学校へ送り出しました。

【主な行事】4月：はじまりの会・園外活動・保護者ワークショップ

5月：春の遠足(ながすか公園)・交流会・保護者勉強会(心理師)

6月：親子であそぼう会・保護者勉強会(OT・ST)・交流会

7月：こどもまつり(藤倉保育所行事に参加)・先輩ママとの茶話会

8月：水あそび・交流会

9月：親子であそぼう会(縁日風)

10月：秋の遠足(キッズランドUS)・保護者勉強会(ST)・交流会

11月：総合防災訓練・交流会・保護者グループワーク

12月：クリスマス会・交流会

1月：初詣・保護者勉強会(心理)・園外活動

2月：豆まき会・クッキング・交流会

3月：お雛祭り会・お別れ遠足・交流会・卒園修了式

*お誕生者がいる月にお誕生会を行う。

*避難訓練・防災訓練は藤倉保育所主催に参加させていただいている。

*藤倉保育所パンダくみとの交流会や、保育所の行事(ごきげん座)などにも参加させていただいている。

【実施日数】239日(月曜日～金曜日9:00～13:00)

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	15	17	17	17	17	18	
	延人数	124	130	127	158	134	129	
5年度	実人数	20	20	20	20	20	20	
	延人数	154	177	187	165	151	151	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	17	19	19	19	18	19	19
	延人数	152	130	129	127	122	149	1,611
5年度	実人数	20	20	20	20	20	120	20
	延人数	160	161	164	157	141	159	1,927

【スタッフ数】管理者、児童発達支援管理責任者兼務1人・保育士2人・児童指導員4人

ひまわりクラブと兼務

【そ の 他】臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士・動作法の専門職の協力 49 回実施

(2) 放課後等デイサービスひまわりクラブ(放課後等デイサービス)

【実施状況】

利用定員が3人と少ない中での活動でしたが、今までにしたことのないエアドーム(ひまわり園版)・ウォークラリー・宝探し・音かるたなど、室内外で楽しい企画をし、活動の幅が広がりました。当法人の他事業所との交流も多くあり、遠出をする機会もありました。少ない人数でしたが、企画などの工夫で子どもたちの笑顔は多くみられました。

令和7年3月には高等部3年生が2人卒業しました。

【主な活動】

- 4月：社会体験・公園活動・ウォークラリー
- 5月：買物体験・畑作業・公園活動・クッキング
- 6月：社会体験・買物体験・室内ゲーム・畑作業
- 7月：制作・畑作業・社会体験
- 8月：社会体験・夏祭り・買物体験
- 9月：公園活動・買物体験・制作活動
- 10月：公園活動・社会体験・畑作業・宝探し
- 11月：買物体験・室内ゲーム・クッキング
- 12月：避難訓練・社会体験・クリスマス会
- 1月：初詣・書初め・クッキング・社会体験
- 2月：制作・社会体験・買物体験
- 3月：室内活動・お楽しみ会・社会体験

* 社会体験で新規に出かけた場所・・・とんとんの丘、地底の森ミュージアム

パレット大崎プラネタリウム、松森ごみ焼却場

【実施日数】平日239日実施 13:00～17:00

【利用人数】

【スタッフ数】管理者、児発管兼務1人・保育士2人・児童指導員3人(キッズと兼務)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	14	14	14	14	10	12	
	延人数	49	68	49	60	31	46	
5年度	実人数	18	18	19	18	18	18	
	延人数	66	75	77	66	51	75	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	12	12	10	11	11	11	14
	延人数	50	47	36	49	46	38	569
5年度	実人数	18	18	19	17	16	17	19
	延人数	72	70	61	55	51	57	776

2. 健常児童に対しての各種福祉サービス事業

(1) きょうだい児支援事業

【実施状況】

今年度より地域の託児ボランティア団体「そるとと」に赤ちゃんボランティアの協力依頼をし、必要時にお願いをした。毎回２名での来園が基本で、きょうだい児を見ていただいた。

３．その他目的を達成するために必要な事業**（１）塩竈市障害児・者発達相談支援事業「ひまわり相談室」****【実施状況】**

平成２１年度より塩竈市からの委託事業として、専門職（公認心理師・作業療法士）による塩竈市の在宅障害児・者の各種相談を無料で実施

【実施・訪問場所】

ひまわり幼稚園、パドマ幼稚園、拠点センター、あゆみ保育園、東部保育園、清水沢保育所、藤倉保育所、うみまち保育所、ひまわり園

【実施日数】 ２４日実施（２日／月）

【利用実数】

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	
６年度	相談実数	２	２	１	３	３	３	
５年度	相談実数	４	２	３	３	３	２	
		１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年間
６年度	相談実数	３	３	２	２	２	２	２６
５年度	相談実数	３	４	４	２	３	４	３７

【スタッフ】 公認心理師・作業療法士の専門職２人

４．付随事業**（１）塩竈市ひまわり園運営委員会に関すること****【実施予定日・場所】**

日 時：令和７年３月４日(火) １４：１０～１５：３０

場 所：塩竈市壺番館 視聴覚室

【参加者】

保護者２人（未就学・学童利用児）・教育委員会学校教育課・民生児童委員２人
保健師１人・障がい者支援係１人・藤倉保育所々長１人・当法人代表理事・専務理事
ひまわり園々長・職員１人、計１２人

【内 容】

ひまわり園の運営状況の報告と今後のより良い運営について、関係者・関係団体と協議を行う

（２）研修に関すること（法人全体人材育成研修以外）

実施日	名 称	場 所	人数
6/20	新人育成研修	地域拠点センター	１
6/10,11,13,14	強度行動障害支援者養成研修国研修	オンライン, さわおとの森	１
7/3,6,17,24	宮城県強度行動障害研修	オンライン, 拠点センター	１
7/3	救命救急研修	ひまわり園	５

8/27	新人育成研修	地域拠点センター	1
10/23	新人育成研修	地域拠点センター	1
11/27	人材育成研修	地域拠点センター	2
1/14	人材育成研修	地域拠点センター	2
1/29	人材育成研修	地域拠点センター	2
2/13	新人育成研修	地域拠点センター	1
2/20,21	児童発達支援管理責任者更新研修	みやぎハートフルセンター	1
3/24～27	新人育成研修	地域拠点センター、法人事業所	1

(3) 職員会議に関すること

実施日	内 容	人数
5月31日	6月の行事、活動、支援等について	7
6月25日	行事、活動、支援、広報ブログ、スペシャルラーニング等について	8
7月16日	今月の行事、夏休みの活動等について	7
8月28日	9月の行事、個別面談、活動、支援等について	6
10月22日	11月以降の行事、保護者勉強会について	7
12月 3日	クリスマス会について	6
12月19日	1月以降の行事、年末年始の事等について	5
1月27日	年度末に向けての行事、事業所アンケート等について	6
2月25日	3月の行事、個別面談の進捗状況等について	7
3月31日	新年度の職員体制（顔合わせ）、役割分担、受け入れ等について・事務連絡	5

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

【実施状況】 動作法・三好先生のゼミ生1人。9月～12月の間に12日間 仙台リゾート＆スポーツ専門学校より1人。7月29日～8月9日、9日間

(5) 防災に関すること

【実施状況】 毎月1回、藤倉保育所の計画の元に、合同で避難訓練を実施。 総合避難訓練では、消防隊来園のもと水消火器での消火活動訓練を行う。保護者も参加する機会も多くあり、避難所まで歩くこともできた。
--

(6) 広報に関すること

【実施状況】 児童発達支援事業 「ひまわり園だより」を毎月発行 放課後等デイサービス 「ひまわり園だより」を毎月発行

・こども発達センターあかいしの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援「むーとん」(児童発達支援センター)

【実施状況】

あかいしの森の児童発達支援は、午前・午後3クラスを運営。午前は「はな(年少以下中心)」、「そら(年少・年中・年長)」、親子通園を基本とし、保護者様と共にお子様の困り感を解消し、自立を目標とした支援をしています。午後は「みち(1年以上の親子通園を行った方)」を運営。幼稚園、保育園を利用している方が、午後から利用されることで、ご利用の回数が増え、成長も大きくみられています。ニーズに合わせ細やかな支援ができる体制を整えております。またST、OTの専門職の助言を受けながら「専門的な観点」からの支援も行っています。また、「ペアレント・プログラム」では、保護者の学びの場を提供し、大きな成果を生んでいます。「言葉・摂食・運動に関する勉強会」も開催。「先輩ママとおしゃべり会」では、卒園された保護者より学校へ向けての心構えなど、伺う機会も設け、ご家族への様々な情報提供も行いました。

【実施行事】4月：新年度始まりの会、奉仕活動、個別面談、避難訓練

5月：遠足、誕生会、先輩ママのお話を聞く会、個別面談、奉仕活動

6月：MGP、家族参観、プール開き会、ペアプロ保護者向け説明会
奉仕活動、避難訓練ウォークラリー

7月：言葉の勉強会、内科健診、縁日ごっこ、祖父母参観

8月：プール遊び、摂食勉強会、誕生会、奉仕活動

9月：個別面談、給食試食会、遠足、歯科健診、ペアレントプログラム
家族参観、おしゃべり会、避難訓練

10月：わくわくワークショップ、このはな牧場ふれあい、運動会、七五三
ペアレントプログラム、作業療法分野の勉強会

11月：家族参観、父親勉強会、内科検診、演奏会(音楽のチカラ主催)
ペアレントプログラム、避難訓練ウォークラリー

12月：クリスマス会、総合避難訓練

1月：ペアレントプログラム(フォローアップ)

2月：節分まめまき会、わくわくワークショップ、みち修了式、個別面談
総合避難訓練

3月：卒園式、みち修了式、お別れ会、個別面談

【実施日数】 239日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	26	31	34	37	36	37	
	延人数	239	268	287	328	288	303	
5年度	実人数	45	45	46	45	44	45	
	延人数	377	429	459	349	371	396	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6	実人数	35	36	36	36	35	36	43

年度	延人数	3 2 2	2 7 4	2 5 5	2 8 7	2 5 0	2 4 1	3 , 3 4 2
5	実人数	4 4	4 3	4 5	4 7	4 8	4 7	5 3
年度	延人数	4 0 4	3 6 0	3 6 8	3 6 3	3 7 7	3 2 4	4 , 5 7 7
【スタッフ数】管理者 1 人・児発管 1 人・保育士 4 人・児童指導員 3 人・言語聴覚士 1 人・理学療法士 1 人								
【その他】 作業療法士 1 2 回、言語聴覚士 3 2 回の支援								

(2) 放課後等デイサービス「ぴーす」(放課後等デイサービス)

【実施状況】

令和 6 年度はむーとんからの持ち上げりを主とした 1 7 人の新規契約があり、契約児数は 6 8 人となりました。児童発達支援を卒園した子どもの切れ目のない支援としての地域の要望を可能な限り受け入れる姿勢を示し、将来的には放デイ事業の増設をも見込んでの舵切りでしたが、当年度内に利用調整が進んだことで令和 6 年度末での利用実績がある契約者数は 5 8 人程度まで落ち着いています。

児童発達支援と併設された放課後等デイサービスとして求められる、「慣れた場所」「慣れた支援者」による安心できる環境の提供を果たしながら、比較的大人数の小集団を形成しての活動を中心に季節感や地域に根付く行事、専門職 (ST ・ PT) の助言による機能訓練の要素を取り入れた活動を行ってきました。

【実施工事】 4 月：ホール・園庭遊び、お散歩花見

5 月：畑づくり、母の日製作、集団遊び、ミニ運動会、個別面談

6 月：外出・公園遊び、制作、運動遊び、避難訓練

7 月：泡遊び、映画館ごっこ、水遊び、松森清掃工場見学

8 月：このはな牧場へ外出、おにぎりクッキング、仙台七夕制作
ミニプラネタリウム作り

9 月：避難訓練、お月見制作、寒天遊び、花紙遊び

1 0 月：個別課題、リラクゼーション、芋ほり体験、ハロウィンパーティ

1 1 月：スポーツテスト、避難訓練、風船バレー、段ボール遊び

1 2 月：ミニ運動会、ステンドグラス作り、クリスマス会、ケーキ作り
年末大掃除

1 月：初詣外出、スライム餅つき、雪遊び、段ボール工作

2 月：節分遊び、バレンタインクッキング、園庭遊び、体操

3 月：梱包材遊び、ヨガ教室、バルーン・風船バレー、グランディへ外出

【実施日数】 2 3 9 日

【利用人数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
6	実人数	6 3	6 2	6 2	6 5	6 3	6 0	
	延人数	2 0 0	2 3 3	2 0 3	2 1 8	1 6 2	1 8 7	
5	実人数	5 3	4 9	4 9	5 3	5 1	5 0	
	延人数	1 6 2	1 6 9	1 7 7	1 7 5	1 5 7	1 7 0	
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間

6年度	実人数	59	58	59	60	58	60	66
	延人数	220	190	181	195	168	184	2,341
5年度	実人数	51	51	52	51	51	51	55
	延人数	177	162	160	148	158	154	1,969
【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士2人・児童指導員2人 看護師1人・理学療法士1人								

(3) 保育所等訪問支援「ほーぷ」(保育所等訪問支援)

【実施状況】								
主に支援学校への訪問を定期的に行っています。その他としては、あかいしの森むーとん在籍児の並行利用先やぴーす利用児が通学する地域の小学校等に出向き、支援方法の共有を実施しております。また、令和6年度からはむーとん、ぴーすの利用実績がない児童が在籍している小学校への訪問支援も実施しております。実施後に職員の対応が大きく変わったとの報告を受けたケースもありました。								
【実施日数】18日								
【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	1	0	2	8	0	2	
	延人数	1	0	2	8	0	2	
5年度	実人数	0	0	4	0	2	4	
	延人数	0	0	4	0	2	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	5	4	0	1	1	0	20
	延人数	5	4	0	1	1	0	24
5年度	実人数	1	2	2	5	1	0	14
	延人数	1	2	2	5	1	0	21
【スタッフ数】作業療法士1人・理学療法士1人・言語聴覚士1人・保育士3人 児童指導員1人								

(4) 居宅訪問型児童発達支援「にじ」(居宅訪問型児童発達支援)

【実施状況】								
令和6年度の利用実績がなかった為、令和7年度5月1日より休止となります。								
今後は、利用希望があった際に再開していきます。								
【実施日数】0日								
【スタッフ数】作業療法士1人・保育士1人								

2. 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(1) こども相談支援つくしんぼ黒川(障害児相談支援事業・特定相談支援事業)

【実施状況】								
作成対象者は当法人を利用している障害児・者を主とし、118人の計画を作成しました。進捗率は、他相談事業所との連携もあり、ほぼ100%となっております。しかし、								

市町村より児童発達支援等の新規利用希望は続いており、全ての方への計画作成をつくし
んば黒川で受ける事は困難となっております。そのため、富谷市・黒川相談支援ネットワ
ークや宮城東部相談支援部会を通し、他相談事業所と連携、調整を行っております。

また、１８歳となり障害児相談支援事業（障害児）から特定相談支援事業（障害者）
へと変更になる方に対し、特定相談支援事業を主としている相談支援事業所へケース
の引継ぎを行い、その分少数ではありますが、新たな児童の計画相談を行っております。

【実施日数】２３９日実施

【利用人数】

利用計画とモニタリングも含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	14	27	22	21	14	31	
	延人数	14	36	32	25	14	46	
5年度	実人数	24	24	14	16	11	31	
	延人数	26	27	16	17	12	33	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人数	25	24	14	11	27	15	
	延人数	33	34	17	17	32	17	
5年度	実人数	27	20	22	16	28	36	
	延人数	30	24	22	20	30	40	

【スタッフ数】管理者１人、相談支援専門員２人、相談員１人

３．健全児に対しての各種福祉サービス事業

（１）きょうだい児支援事業

【支援内容】

今年度も地域の方々や、以前あかいしの森を利用していたご利用児の保護者の方に助け
ていただきながら、乗り切ることが出来ました。また今年度も新たに、以前あかいしの森
を利用していたご利用児の保護者の方にも加わっていただきました。

【実施日数】２０５日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	4	3	2	6	9	4	
	延人数	40	24	18	29	50	27	
5年度	実人数	5	3	4	5	6	5	
	延人数	36	30	42	31	49	38	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人数	4	4	6	5	4	7	
	延人数	38	27	27	31	26	32	
5年度	実人数	6	6	11	7	10	13	
	延人数	31	23	54	36	49	57	

【スタッフ数】赤ちゃんボランティア（登録１１人）および職員

4 . 付随事業

(1) 職員研修にすること (法人全体人材育成研修以外)

強度行動障害支援者養成研修、児発管基礎研修、障害者支援研修、意思決定支援研修、てんかん研修、医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修、相談支援従事者初任者研修、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業に係る研修に参加。その他、オンライン研修等に適宜参加。

(2) 会議にすること

全体職員会議

内容：新年度確認事項（支援方針、職務内容、役割分担、運営内容等を確認）

参加者：全職員

回数：年 1 回実施（ 4 月 1 日に実施）

幹部会（毎週）

内容：管理者会議からの報告事項や各部門からの課題共有、園全体の運営に関する協議事項、翌週の予定確認等

参加者：センター長・副センター長・主任

回数：毎週 1 回 年 5 7 回実施

むーとんチーフ会議

内容：クラス運営状況、利用者情報、行事等の確認

参加者：副センター長、主任、リーダー（各クラスのチーフ）

回数：月 1 回 年 1 2 回実施

むーとん会議

内容：運営状況、利用者情報共有、月の振り返り、次月の計画等を確認。

参加者：センター長、副センター長、むーとん職員

回数：月 1 回 年 1 2 回実施

ピーす会議

内容：運営状況、利用者情報共有、月の振り返り、次月の計画等を確認。

参加者：センター長、ピーす職員

回数：月 1 回 年 1 2 回実施

個別支援会議

【実施状況】

むーとん...クラス毎に必要な応じて行う個別支援会議および、日々の活動後の振り返りの際に個別支援の状況等を共有している。

ピーす...毎月のピーす会議および、日々の活動の振り返りの際に個別支援の状況等を共有している。

給食委員会

内容：実施反省、次月の献立、利用者食形態の確認他

参加者：センター長（全体給食会議のみ）菅原栄養士、委託業者（調理員）、給食担当者等

回数：月 1 回 年 1 2 回実施（内 2 回は全体給食会議）

その他会議（つくしんぼ黒川のみ）

実施日	内 容	場 所	人数
毎月	富谷・黒川地域自立協 相談支援NW会	大和町役場、富谷市役所	3
毎月	宮城東部地域自立協 相談部会	ZOOM	1
毎月	つくしんぼ黒川会議	つくしんぼ黒川	4
9月、1月	富谷・黒川地域自立協 こども支援NW会	大和町保健福祉総合センター	3
1月、2月	医ケアNW会（医ケコ会）	大和町保健福祉総合センター	2

（３）見学と実習の受け入れ等に関すること

実施日	内 容	人数
6/14	なとり児童発達支援センター見学	6
8/19～8/23	東北文化学園大学地域作業療法学実習	1
8/19～8/30	宮城学院女子大学保育実習	2

（４）地域交流に関すること

11月27日に「音楽のチカラ」という団体による演奏会を、むーとん利用時間に実施。プロの演奏家によるサックスの演奏などが行われた。代表者は富谷市在住の方。

（５）防災に関すること

【実施状況】

むーとん避難訓練 4月18日 地震想定
 6月 2日 火災想定（東向陽台小学校まで避難）
 9月 2日 地震想定
 11月19日 地震想定（東向陽台小学校まで避難）
 ぴーす 避難訓練 5月20日～5月24日 火災想定
 9月 2日～9月 6日 地震想定
 11月11日～11月15日 地震からの火災想定
 総合防災訓練実施日（避難・通報・消火訓練）
 12月 3日 （むーとん利用児対象）
 2月12日 （むーとん利用児対象）
 防災点検実施日 年2回実施 （北杜防災）

（６）広報に関すること

園だよりの発行

・クラスだよりの（未就学各クラス用）を発行：12回／年
 ・ぴーすだよりの（学童用）を発行：12回／年 月の活動予定およびお知らせ・お願い事項等

・利府こども発達センター

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 利府こども発達センターどんぐり(児童発達支援事業)

【実施状況】

未就学の発達に遅れのあるお子さんとそのご家族を対象に、小集団生活の中で社会性を養い、子ども達の持っている力を引き出すための個別支援計画を作成し、それに基づき一人ひとりに合った療育を行ってきました。

また、お子さんのレスパイトでの受け入れを積極的に行って家族の負担軽減に努めてきました。運動・音楽・感触・集団・製作活動などの日々の活動、様々な行事を経験していく中で成長し、どの子ども達の自信に満ちた表情を見ることが出来ました。保護者との個別面談や日々の会話の中で子育ての困り感をタイムリーにキャッチし、解決方法を一緒に考えていくなど、家族支援にも取り組んできました。

令和6年度は、17人が継続利用となり年度途中での幼稚園への移行が数名ありました。

・主な行事

5月	春の遠足(石ノ森漫画館)	12月	クリスマス会・歯科検診
6月	お父さん参加	2月	お父さん参加
7月	先輩ママとの茶話会	3月	お別れ遠足(八木山動物園)
10月	運動会		お別れ会
11月	りんご狩り	6月、9月、1月	避難訓練

【実施日数】238日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和	実人数	17	17	17	17	17	18	
6年度	延人数	187	204	210	208	184	169	
令和	実人数	19	19	20	20	19	20	
5年度	延人数	195	216	213	195	209	192	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和	実人数	18	19	17	16	17	17	17
6年度	延人数	204	178	171	153	136	177	2181
令和	実人数	20	20	19	19	19	19	22
5年度	延人数	226	206	191	149	207	204	2,108

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士4人

【その他】専門職の指導 作業療法士・心理職・言語聴覚士 随時

(2) 利府こども発達センターあかね(放課後等デイサービス)

【実施状況】

学童児に対して、主に放課後や長期休業日に各種療育支援・自立支援を目的に活動を実施してきました。

音楽あそび、感覚あそび、運動あそびを中心に、クッキングや個別課題、制作、サーキットなどの室内活動や、買い物体験・公園遊びなどの外出体験を行い、様々な場所に慣れる・経験する・運動するなどの目的を踏まえながら、活動の場所も開拓してきました。

コロナが落ち着いたこともあり、体育館を借りての運動会を家族参観にしたり、家族同士の交流や勉強会を目的とした茶話会「純子先生とのお話会」を企画したり、家族参加の機会を増やしました。多くの家族に参加いただきました。

・主な行事

- 4月 遠足(とんとんの丘) お花見、制作、公園あそび
 5月 音楽あそび、畑作業・避難訓練、買物体験(マック)、ウォークラリー
 6月 クッキング(ミスパイ)、個別課題、公園外出、サキット、七夕制作
 7月 公園外出、クッキング(パンケーキ)、スライムあそび、水あそび
 8月 川あそび(材木岩公園) 縁日ごっこ、カレー作り・夏詣、遠足(感覚ミュージアム)、わんこラリー
 9月 買物体験(パン屋さん)、公園遊び、制作、収穫サキット
 10月 梨狩り、工場見学(松森工場)・避難訓練、電車体験(八木山動物園)、クッキング、ハロウィン 家族面談を実施
 11月 買物体験(惣菜) 秋の散策、個別課題、公園外出、縁日ごっこ
 12月 ミニ運動会(保護者参観)、クッキング(さつまいもサラダ)、クリスマス会、カラオケ・ボーリング
 1月 初詣(竹駒神社)、書初め、クッキング(のり巻き) 鬼退治サキット
 2月 買物体験(マック)、室内ゲーム、運動あそび、個別課題
 3月 音楽あそび、避難訓練・公園外出、映画館ごっこ、いちご狩り

【実施日数】239日実施 (月曜日～金曜日 13時～17時)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	39	36	36	40	41	37	
	延人数	189	184	190	211	164	165	
5年度	実人数	43	38	38	38	39	36	
	延人数	179	190	205	185	167	180	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人数	38	37	38	39	37	41	
	延人数	189	184	188	181	159	195	
5年度	実人数	36	37	39	39	37	38	
	延人数	184	165	183	169	164	185	
								年間
								38
								2199
								38
								2156

【スタッフ数】管理者兼児発管1人・保育士1人・児童指導員3人・看護師1人・作業療法士1人(9月1日～)

(3) 利府こども発達センターのびっこ(保育所等訪問支援事業)

【実施状況】

保護者の方や訪問先・関係機関と一緒に共有することが保育所等訪問の大きな役割となっています。保育所・幼稚園・学校等へ担当訪問者が伺い、専門的知識の観点から
 【開所日数】241日開所
 【利用人数】お子さんの発達特性に配慮する点など必要な支援について助言を行っています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	4	6	8	11	4	3	
	延人数	4	6	9	13	6	4	
5年度	実人数	4	9	6	3	4	6	
	延人数	4	9	7	3	4	6	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人数	8	4	5	3	2	1	59
	延人数	9	5	6	3	3	1	69
5年度	実人数	11	4	7	3	4	6	67
	延人数	11	4	8	3	4	6	69

【スタッフ】管理者1人・児発管1人・作業療法士2人・言語聴覚士1人・保育士1人

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) ぼくらの家（共同生活援助）

【実施状況】 平成29年4月から当法人として初めて実施する共同生活援助です。利用者に対して生活支援員や世話人が夜と週末・祝日を中心に自宅に代わって生活支援を実施しています。平日日中は全員日中活動場所へ通っています。								
【実施日数】 365日実施								
【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	6	6	6	6	6	6	
	延人数	180	180	180	186	180	178	
5年度	実人数	6	6	6	6	6	6	
	延人数	180	180	180	186	180	178	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人数	6	6	6	6	6	6	6
	延人数	186	180	185	178	168	186	2167
5年度	実人数	6	6	6	6	6	6	6
	延人数	186	180	185	178	168	186	2167

【スタッフ数】管理者1人・サービス管理責任者1人・生活支援員2人
調理員4人と当直職員9人（他事業と兼務）での交代勤務

(2) みんなの家（短期入所事業）

【実施状況】 平成29年4月に、当法人として2番目の短期入所事業所として開所しました。上記の共同生活援助（ぼくらの家）と併設されている事業所になります。 1日定員5人で、月～日曜日（祝日・法人休業日除く日程）の宿泊の受け入れを行ってきました。自宅以外での宿泊経験、ご家族とのレスパイト、生活に必要な動作等をできるだけ自分の力でできるように練習をする生活訓練の場ともなるように、サービスの提供をし								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

てきました。

新規の見学・契約者数は年々増加しており、6年度はより多くの皆様にご利用頂けるようにそれぞれの日程や利用回数を調整させていただき、運営してきました。また、その中で、利用者層にも大きな変化が見られ、重度支援が必要な方や行動面の見守りが必要な方々も増え、可能な限り、環境面や人員面などに配慮し受け入れをさせていただきました。

【実施日数】329日実施

(12/3～8までの6日間、SS閉所期間あり。ぼくらの家にて感染症の感染者が複数名療養していたため)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	108	92	105	107	81	100	
	延人数	119	105	125	120	105	118	
5年度	実人数	89	87	103	90	86	91	
	延人数	127	122	124	121	113	115	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	100	101	68	107	93	89	1151
	延人数	117	120	84	116	105	107	1341
5年度	実人数	91	91	91	85	84	94	1082
	延人数	133	100	115	99	114	127	1410

【スタッフ数】管理者1人・当直職員8人(他事業と兼務)での交代勤務

3. 健常児童に対しての各種福祉サービス事業

(1) 健常児一時保育

【実施状況】

どんぐり利用児のきょうだいを、同じ時間帯に受け入れました。

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	5	3	2	3	3	3	
	延人数	20	20	17	20	23	21	
5年度	実人数	4	4	4	5	4	4	
	延人数	21	21	18	23	21	13	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	3	3	3	3	4	4	3
	延人数	17	11	18	11	11	20	209
5年度	実人数	4	3	3	3	3	3	5
	延人数	24	9	15	11	8	17	156

【スタッフ数】専属ボランティア等5人

4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 自治体委託事業

利府町乳幼児発達相談事業

【実施状況】

平成１９年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診で発達の心配な児童とその家族に対してＳＴ・ＯＴ・心理による専門的な相談（森の相談室）と、親子教室としての育児支援（コアラ教室）を行ってきました。

【実施場所】利府町保健福祉センター

【実施日数】森の相談室：年間４７日実施（３～４日／月）

コアラ教室：年間１７回実施（１～２日／月）

【利用人数】

森の相談室（心理発達相談・言語発達相談・ＯＴ発達相談）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	11	15	11	12	12	13	
	延人数	11	15	11	13	13	14	
5年度	実人数	11	8	12	12	11	12	
	延人数	11	8	12	12	11	12	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	13	13	15	10	9	17	151
	延人数	13	13	15	10	9	17	154
5年度	実人数	12	13	13	10	14	8	94
	延人数	12	13	13	11	14	8	137

コアラ教室（親子教室）（対象児のみで保護者・兄弟は含まない）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	3	3	3	4	5	5	
	延人数	3	3	6	3	3	3	
5年度	実人数	4	8	7	7	7	4	
	延人数	4	8	7	7	7	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	5	5	7	7	7	7	12
	延人数	7	8	11	6	13	7	73
5年度	実人数	4	4	3	3	3	4	12
	延人数	7	6	6	3	5	6	70

【スタッフ数】森の相談室：心理職・言語聴覚士・作業療法士の専門職５人

コアラ教室：保育士等３人

利府町乳幼児精神発達精密健康診査

【実施状況】

令和３年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診の結果、より精密に健康診査を行う必要のあると認められる就学前の乳幼児とその保護者に対して、心理職による専門的な相談と検査を実施し、早期発見と適切な指導を行ってきました。

【実施場所】利府町保健福祉センター ・ 対象児所属園（行動観察・巡回相談）

【実施日数】年間 ８回

【利用人数】＊ 園を訪問し精健対象児 1 人行動観察。同園で気になるお子さんに対する巡回相談実施。							
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
6 年度	2	—	—	2	—	2	
5 年度	1	4	2	中止	—	2	
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間
6 年度	2	2	—	2	* 4	* 5	2 1
5 年度	—	—	1	2	2	—	1 4
【スタッフ数】心理職 1 人 担当保育士 1 人							

5 . 付随事業

(1) 研修に関すること (法人全体人材育成研修以外)

実施日	内 容	場 所	数
4/30	利府町保育士研修 (普通救命講習)	利府町役場	2
10/23.24.25	新任職員研修	みやぎハートフルセンター	1
12/2.3.4.24	サービス管理責任者基礎研修	e-ラーニング・みやぎハートフルセンター	1
2/18.19	児童発達支援管理責任者更新研修	みやぎハートフルセンター	1

(2) 会議に関すること

実施日	内 容
各 1 回/月	主任会議、どんぐりカフェイン、あのね会議、ぼくらの家・みんなの家会議、給食会議、総務会議

(3) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

受入日	受入内容等	依頼先・見学者
5/27～6/26	社会福祉援助技術実習受け入れ	東北福祉大学
7/27	保育実習指導講師派遣	東北福祉大学
9/9～10/29	社会福祉援助技術実習受け入れ	仙台医療福祉専門学校
11/18～11/22	利府町キャリアシップ受け入れ	利府中学校 2 人
12/16～3/13	社会福祉援助技術実習受け入れ	仙台医療福祉専門学校
12/9～12/18	社会福祉援助技術実習受け入れ	仙台医療福祉専門学校

(4) 防災に関すること

防災・避難訓練

実施日	内 容
5/27	総合防災訓練実施 日中火災想定 参加者：利用児 12 人・職員 5 人・計 17 人 (避難訓練、消火訓練、通報訓練) 北斗防災による非常ボタンの操作説明
5/31	利府消防遺書による予防査察点検実施
10/31	総合防災訓練実施 日中火災想定 参加者：利用児 12 人・職員 5 人・計 17 人 (避難訓練、消火訓練、通報訓練) 北斗防災による非常ボタンの操作説明
どんぐりは、年 2 回実施する総合防災訓練に参加。あのねは活動内で避難訓練を実施。	

立ち入り検査

(5) 広報に関すること

【実施状況】どんぐり予定・あのねだより 月 1 回発行

・地域拠点センター

１．児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(１) 地域拠点センターふきのとう(障害児相談支援事業・特定相談支援事業)

【実施状況】								
支援の対象者は原則当法人運営の事業所を利用されている障害児・者としています。								
相談員の退職に伴い、退職者が担当していたケースのほとんどを他の相談事業所に移管したことから、大幅に契約者数が減っています。								
【実施日数】 245日実施								
【利用人数】 利用計画とモニタリングも含む								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人員	6	4	2	2	0	2	
	延人員	6	4	2	2	0	2	
5年度	実人員	15	13	15	15	14	19	
	延人員	15	13	15	15	14	19	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人員	6	4	2	2	4	2	36
	延人員	6	4	2	2	4	2	36
5年度	実人員	20	18	13	14	16	13	185
	延人員	20	18	13	14	16	13	185
【スタッフ数】 相談支援専門員 2人								

２．障害者総合支援法に基づく指定一般相談支援事業

(１) 地域拠点センターたんぽぽ(地域定着支援)

【実施状況】								
次の項目の「地域生活支援コーディネート業務」に付帯する事業として実施しております。原則上記事業の登録者であり、かつ地域相談支援の支給決定をされた方を対象として、地域生活の見守りを24時間365日体制で行っています。								
【実施日数】 365日実施								
【利用人数】 242人								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人員	20	20	19	19	19	19	
	延人員	20	20	19	19	19	19	
5年度	実人員	20	20	20	21	21	20	
	延人員	20	20	20	21	21	20	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	実人員	19	18	18	18	17	17	17
	延人員	19	18	18	18	17	17	223
5年度	実人員	20	20	20	20	20	20	20
	延人員	20	20	20	20	20	20	242
【スタッフ数】 相談員1人(兼務)								

3. その他目的を達成するために必要な事業（自治体委託事業）

（1）地域拠点センターふきのとう（宮城東部地域生活支援拠点等事業業務委託）

1）地域生活支援コーディネート業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町（塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町）より業務委託として実施いたしました。

2市3町行政から要請のあった地域に暮らす障害当事者について、個別に緊急ショートステイの登録面談を行い、アセスメント情報（成育歴・生活の状況・将来の生活への願い・障害の特性について）を細やかに聞き取り、緊急時に必要な支援内容、日常の支援の充実、将来への備えなど、日常の支援の充実のために、行政や担当の相談支援事業者と連携して取り組んでいます。また、緊急事態に際してショートステイの受け入れ調整を行いました。

【実施日数】366日実施

【利用人数】914人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	43	48	47	19	47	51	
	延人数	72	96	67	24	109	94	
5年度	実人数	43	43	40	39	46	42	
	延人数	107	100	65	84	90	92	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	51	51	43	27	45	48	520
	延日数	77	131	70	37	68	72	914
5年度	実人数	39	34	51	44	44	48	513
	延人数	70	67	83	70	71	69	968

年間

2）緊急時調整支援業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町の業務委託として実施いたしました。

法人内短期入所事業所「みんなの家」（利府こども発達センター内）並びに「さわおとの森短期入所」と連携し、「緊急時支援業務」に係る緊急受け入れに備えるとともに、緊急時の相談を受け付けました。受け入れに際しては、必ず1人以上を受け入れる約束をし、空き状況に応じて2人以上でも受け入れを行っています。本年度は以下のとおり緊急の受け入れをいたしました。

【実施日数】366日実施

【利用人数】27人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	1	0	0	0	2	0	
	延日数	3	0	0	0	11	0	
5年度	実人数	1	3	1	1	2	2	
	延人数	6	10	3	3	6	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間

6年度	実人数	0	5	0	1	0	0	9
	延日数	0	11	0	2	0	0	27
5年度	実人数	1	1	1	1	0	0	14
	延人数	2	2	2	2	0	0	40

3) 基幹相談支援センター業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より業務委託として実施いたしました。

宮城東部地域自立支援協議会の活動の中で地域住民のニーズから課題を抽出し、課題解決に向けて関係機関と連携し、地域づくりを推進しました。また、支援が困難になっているケース、地域生活支援拠点等事業の登録者について、行政や相談事業所との連携の下、のバックアップと専門的見地からのアドバイスをを行い、担当の相談事業所と共働しました。

【実施日数】 245日

【利用人数】 1372件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6年度	実人数	50	56	55	48	54	58	
	延人数	113	140	116	75	129	109	
5年度	実人数	51	51	45	47	53	49	
	延人数	128	142	96	117	120	113	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6年度	実人数	56	56	50	63	52	58	656
	延人数	99	150	94	110	117	120	1372
5年度	実人数	46	40	59	50	51	53	595
	延人数	99	88	108	91	104	92	1298

4) 地域自立支援協議会事務局

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より委託を受け、宮城東部地域自立支援協議会事務局として、市町の行政担当者との連携し、企画と運営に関わり、会議開催にあたっての連絡調整、記録作成、進捗管理等、庶務の一切を行いました。行政の担当者は数年ごとに異動してしまう中、取組に継続性を持たせるために当事業所の役割は重要性を増しています。基幹相談支援センターの機能と相まって、「誰でも安心して暮らすことができる地域づくり」の推進力となっていくことを目指し、業務に当たりました。

【実施日数】 245日

【実施件数】 577件

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
6	延件数	26	47	66	100	60	28	
5	延件数	62	45	65	33	67	79	
年度		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
6	延件数	46	39	34	54	43	34	577
5	延件数	30	51	78	13	26	16	565

【スタッフ数】 管理者1人・コーディネーター2人・基幹相談員1人

(2) 障害児等療育支援事業「あとれ・あとれ黒川」(宮城県障害児等療育支援事業)

【実施状況】

1 訪問による療育指導 (実人数：28回 延べ人数：33人)

保護者または支援者の要望に合わせて、所属先の幼稚園・保育所、認定こども園、学校、生活介護への訪問を行いました。行動観察によるアセスメントを行い、心理面、身体面等の視点から各々に適した支援方法を検討した上で、支援者・家族への助言や情報共有を行いました。保育園の巡回相談が無い地域では、1つの園から気になる児が複数人あがることもあり、保育士と一緒に見立てを共有し、可能な対応方法を検討していくこともありました。また、不登校の小学校支援学級在籍児童への支援を検討するため、学校や教育委員会、町の担当者などによる支援者会議を実施するケースもありました。

2 外来による専門的な療育相談・指導 (実人数：29件 述べ人数：51人)

発達特性を持つ子どもに合わせた具体的な関わり方や、支援の方向性等についての相談がありました。家庭内での暴力行為があり精神科に入院した小学生の保護者に対し、個別でペアレント・プログラムを実施したところ、集団でのプログラム同様の効果が見られ、親子関係に改善がみられました。不登校とひきこもり気味の子を持ち、自身も精神科に通う保護者のケースでは、子どもや保護者のペースに合わせながら継続相談を実施し、併せて支援者間で情報共有しながら所属先の環境を整えていく支援を行いました。

3 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所等の職員の療育技術の指導 (実施回数：162回 実人数：66人 述べ人数：162人)

保育園や幼稚園、認定こども園において発達が気になる子の行動観察を行い、本人支援・家族支援の方向性の検討や環境調整についての助言を行いました。

4 発達障害者地域支援マネジャーとの連携

教育機関への訪問が必要なケースや、複数の支援機関が関わり、それぞれの関係性に課題があるケース等の支援の方向性を協議しました。また、町内のペアレント・プログラム実施を目指している利府町との連携において、担当保健師との連絡調整や、モデル事業の施設(保育園・学校)の取り組みへのオブザーバー参加、次年度以降の取り組みの方向性を検討していく上でのコンサルテーションを依頼しました。

5 家族への支援

ペアレント・プログラムを、圏域内において3か所で実施し16人が参加しました。実施者養成研修も3か所で実施し、13人が実施者となりました。また、ペアレント・プログラム支援者研修会をこども園1か所で実施し、8人が参加しました。

自立協議会の部会の一つ「きょうだい児支援ネットワーク会」イベントに地域支援マネジャーとともに企画段階から参加し、県の発達障害者支援センターのメンター派遣事業を依頼し、参加した保護者の話し合いの場等をサポートしました。

【事業に伴う成果】

- ・ 場面緘黙症とASDで不登校となっている双子の姉妹のケースについて、保護者面談の実施や小学校SSWとの連携など試行錯誤してきましたが、なかなか状況の変化が見られませんでした。そこで地域の相談支援専門員と連携し、放課後等デイサービス事業所で実施している不登校支援を活用することとなりました。ステップをとて細かく分け、本人たちのペースに合わせながら進めていったところ、現在は週2回事業所に通うことができるようになりました。以前は家族以外とは全く会話が出来ない様子でしたが、今ではスタッ

フ数名と少し会話ができるまでになり、本人たちの希望を聞きながら学習や余暇活動（ショッピングやクッキングなど）を行っています。

- ・ 利府町においてペアレント・プログラムを町で実施していく動向があり、「えくぼ」の白石先生に講師を依頼し、「ペアレント・プログラムスタートアップセミナー」を実施しました。セミナーには町内の子育て支援に係る支援者が集まり、プログラムが広く周知され、多くの方の関心を得ることができました。セミナーをきっかけとして、今年度は町内から「モデル園」を募りペアレント・プログラムを実施していくこととなり、保育園と小学校の一園一校を対象に保護者向けプログラムを実施しました。併せて実施者養成研修も行い、町の保健師、保育士、教諭など計１２人が実施者となりました。モデル園の取り組みを通して、支援者の方にも実際にプログラムを体験してもらいながら、町内での実施の可能性を話し合ってきたことで、次年度に向けての方向性や課題が見えてきました。

（３）宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

地域支援体制の構築（担当地域の状況や課題、ニーズ、今年度の取組など）

１ 市町村及び事業所等への支援

ケースを通じた関わりでは、市町村から児相や警察が関わる困難ケースの支援者会議への参加依頼や、学校からの要請で行動観察やカンファレンスを行い、現場における支援の提案を行いました。また、療育支援事業から、主に学童期の保護者と支援者の関係に難しさを抱えたケースの相談を受けて一緒にケース対応を実施しました。今年度は１０代から青年期の社会不適応・対人問題で悩んでいるケースも目立ちました。このように療育支援事業担当と連携するケース相談は状況が複雑になっているものも多く、それに伴うように地域の支援者支援の要請が多くありました。

個別のケース外の支援では、ペアレント・プログラムの啓発研修実施の後方支援を行いました。療育支援担当が中心となってペアレント・プログラムの普及啓発を行ってきましたが、中でも一つの自治体から要請を受け、スタートアップ研修会を行い、そこから実際にモデル事業の施設（保育園や小学校）を立ててプログラムを実施し、地区の中で実施できる支援者を養成できたのは大きいと思います。次年度に向けた取り組みについて意見交換を行いました。今後は自治体が主となつての取り組みの後方支援の在り方を探っていこうと考えています。

東部自立支援協議会主催のきょうだい児支援部会に参加し、直営センターのペアレントメンター派遣事業を活用したイベントの計画実施に携わりました。保護者の要望が高く今年度も２回の実施と保護者同士のサロンを開催いたしました。（参加者は３回実施で、延べ１９人。スタッフ１２人。サロンにはスタッフが７人）

今年度は黒川圏域において、保健所黒川支所が開催する母子保健・子育て支援担当者の情報交換会に参加しました。各自治体の現状を共有し情報を得ることで、それぞれの市町村の取り組みが参考となる場であり、圏域ネットワーク会の体制構築の一步として有意義な機会でした。県として初めての「教育と福祉の連携研修会」が実施され、仮想事例を通してケースアセスメントを特別支援コーディネーターと福祉サービス事業所職員が一緒に行いました。その研修をもとに地域の学校からケース対応についてコンサルテーションの要請が入る等地域の連携が生まれました。

２ 家族への支援

- ・東部自立支援協議会きょうだい児支援ネットワーク会のイベント運営に携わり、イベント2回と保護者の自由参加によるサロンを行いました。直営センターのメンター派遣事業を活用して派遣されたメンターの話題に触発され参加者が自身の状況を開示していく様子に他の保護者やスタッフも共感する姿がありました。また、前年度参加し、内容に感銘を受け今年も参加したという保護者や自身も親の会を立ち上げて運営に携わっているという保護者もいて、人の輪が繋がっていく場に立ち会っている感覚を味わえました。

3 医療機関との連携

- ・個別ケースにおいての医療連携は、当事者支援に関わる中で、本人から主治医と繋がることを要請され今後の連携を念頭に連絡を取り合いました。
- ・地域の相談場所として、医療機関から紹介されて相談に繋がるケースがいくつかありました。
- ・ケース検討会を通じて、医療の立場からケースについての見立てや支援の進め方について助言を得ることができました。

4 県等との連携

- ・直営センターと教育と福祉の連携研修会においてグループワークを実施しました。
- ・東部自立支援協議会きょうだい児ネットワーク会でのメンター派遣事業を活用するため、メンターの派遣と事前協議や当日対応で協力を得て実施することができました。
- ・ペアレント・プログラム実施者養成研修におけるバックアップと事務手続きの関係で協力を得ました。
- ・発達支援センター主催の研修会に参加し、支援技術向上を図ったり成人期発達障害者への対応についての研修や意見交換等を行いました。
- ・定期連絡会・新規ケース検討会を通して、ケース対応についての助言を頂いたり、研修会実施に向けた話し合いを行いました。
- ・情報交換会において、連携機関の情報を得られる機会や各圏域の取り組みを知る機会を得られました。
- ・他圏域の研修会に参加する機会を得られ、研修会を通じた学びと他圏域の活動状況に触れられ参考とすることができました。

2 . 付随事業

(1) 研修に関すること (法人全体人材育成研修以外)

(2) 会議に関すること

主任・リーダー会議 利府こども発達センターと合同

ふきのとう所内会議 毎月2市3町会議の後に開催

あとれ会議 年6回実施

その他会議 随時出席

(自立支援協議会関係)

2市3町行政担当者との会議 (毎月) 担当課長会議 (1回) 相談支援部会 (毎月)

その他協議会に係るプロジェクト会議、ネットワーク会議、ダイレクトB会議等 (随時)

(ケース会議)

依頼により随時出席

(3) 講師等派遣に関すること

【ふきのとう】

- 令和 6 年度宮城県相談支援従事者初任者研修
- 令和 6 年度宮城県相談支援従事者現任者研修
- 令和 6 年度宮城県サービス管理責任者実践研修
- 令和 6 年度宮城県サービス管理責任者基礎研修

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

- ソーシャルワーク実習受け入れ（東北福祉大学、仙台大学、仙台医療福祉専門学校）
- 2 市 3 町手をつなぐ育成会役員会に参加
- 2 市 3 町にある精神障害者家族会に参加
- 相談支援従事者初任者研修、現任者研修に係るインターバル研修の受け入れ実施

令和5年度 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額			内 訳
I 経 常 収 益 の 部				
1.受取会費収入				
正会員会費	200,000			
賛助会員会費	1,216,000	1,416,000		
2.事業収入				
児童発達支援	138,458,880			
放課後等デイサービス	81,606,892			
保育所訪問	1,768,244			
生活介護	70,867,500			
短期入所	120,939,412			
共同生活	24,801,124			
居宅介護	957,450			
行動援護	5,958,830			
一時保護	231,872			
計画相談支援	3,842,310			
地域定着	670,140			
レスパイト	295,100			
市町村委託事業	60,893,141	511,290,895		
3.受取助成金等収入				
助成金	17,298,491	17,298,491		処遇改善臨時特例交付金等
4.受取寄附金収入				
寄附金	2,102,000	2,102,000		
5.雑収入				
預金利息	1,870			
GH家賃収入	540,000			
売電収入	1,406,623			
食費収入	8,087,210			
講師派遣・研修等収入	894,200			
その他	1,043,781	11,973,684		おやつ・贈い・休業損失保険金等
経 常 収 益 計			544,081,070	
II 経 常 費 用 の 部				
1.事 業 費				
(1)人件費				
職員棒給	319,161,517			正規・契約・パート・専門・派遣
職員手当	5,101,707			通勤手当
法定福利費	52,742,913			社会保険等
退職金共済掛金	7,783,070	384,789,207		
(2)その他経費				
報酬費	3,549,750			委託医報酬等
消耗品費	8,003,004			教材他
食料費	9,614,835			短期入所食料費用
修繕費	925,143			施設修繕費
燃料費	3,900,303			灯油代等
水道光熱費	5,935,811			上下水道、電気代等
保険料	4,639,809			公用車車両保険等
備品費	2,759,078			備品消耗品等
車両費	5,474,138			車検、私用車代等

使用料	7,003,419			セコム等
地代家賃	4,966,550			土地・建物
旅費交通費	11,176			研修会等旅費
減価償却費	32,273,002			
雑費	40,595	89,096,613	473,885,820	
2.事務費				
(1)人件費				
役員報酬	1,800,000	1,800,000		
(2)その他経費				
委託費	3,912,483			調理業務等
福利厚生費	844,771			予防接種等
広告宣伝費	686,942			求人広告等
研修費	185,410			社会福祉協議会等
渉外費	161,944			謝礼等
会議費	87,362			理事会等
通信費	1,844,036			電話・インターネット・切手等
新聞図書費	94,230			福祉新聞社等
諸会費	53,000			町内会費等
支払手数料	1,276,646			振込手数料等
租税公課	8,272,170			固定資産税等
寄附金	2,000,000			国境なき医師団等
支払利息	1,086,819	20,505,813	22,305,813	融資利息
経常費用合計			496,191,633	
Ⅲ 経 常 外 費 用 の 部				
固定資産除却損	1	1		
経常外費用合計			1	
税引前当期一般正味財産増減額			47,889,436	
法人税、住民税及び事業税			10,819,800	
当期一般正味財産増減額			37,069,636	
前期繰越一般正味財産額			358,125,478	
国庫補助金積立額からの繰入額			12,681,794	
次期繰越一般正味財産額			407,876,908	

事業別活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

勘定科目	＜さわおと＞	＜ひまわり園＞	＜あかいしの森＞	＜利府こども＞	＜地域拠点C＞	＜本部＞	＜合計＞
[経常収益]							
正会費収入	0	0	0	0	0	200,000	200,000
賛助会費収入	6,000	0	0	0	0	1,210,000	1,216,000
児童発達支援	0	30,110,690	71,214,130	37,134,060	0	0	138,458,880
放課後等デイサービス	22,701,650	8,726,740	26,632,280	23,546,222	0	0	81,606,892
保育所訪問	0	0	405,877	1,362,367	0	0	1,768,244
生活介護	70,867,500	0	0	0	0	0	70,867,500
短期入所	86,698,483	0	0	34,240,929	0	0	120,939,412
共同生活	0	0	0	24,801,124	0	0	24,801,124
居宅介護	957,450	0	0	0	0	0	957,450
行動援護	5,958,830	0	0	0	0	0	5,958,830
一時保護	115,000	0	0	116,872	0	0	231,872
計画相談支援	0	0	3,317,930	0	524,380	0	3,842,310
地域定着	0	0	0	0	670,140	0	670,140
レスパイト	0	1,500	195,100	98,500	0	0	295,100
自治体委託事業	0	418,000	0	0	60,475,141	0	60,893,141
助成金収入	3,635,956	200,000	0	8,953,000	0	4,509,535	17,298,491
寄附金収入	72,000	0	30,000	0	0	2,000,000	2,102,000
利用者実費	4,652,440	0	966,800	2,467,970	0	0	8,087,210
賄い収入	490,560	0	900	496,300	0	0	987,760
雑収入	0	0	1,421,212	855,302	158,330	462,000	2,896,844
受取利息配当金	0	0	0	0	0	1,870	1,870
運営健全化調整費	0	0	0	0	0	0	0
経常収益合計	196,155,869	39,456,930	104,184,229	134,072,646	61,827,991	8,383,405	544,081,070

勘定科目	くさわおと	くひまわり園	くあかいしの森	く利府こども	く地域拠点C	く本部	く合計
賃金(正規職員)	92,072,080	25,773,744	64,000,603	65,052,287	38,373,714	0	285,272,428
賃金(契約職員)	934,527	0	8,420,247	4,531,445	0	0	13,886,219
賃金(パート職員)	8,444,091	0	1,772,367	2,454,237	0	0	12,670,695
賃金(専門職)	2,290,200	0	0	0	0	0	2,290,200
賃金(嘱託職員)	0	0	0	3,924,393	0	0	3,924,393
賃金(派遣)	970,787	0	146,795	0	0	0	1,117,582
通勤交通費	1,701,500	374,670	1,309,873	1,163,764	551,900	0	5,101,707
法定福利費	19,626,553	5,847,730	11,016,673	11,022,649	5,229,308	0	52,742,913
退職共済掛金	2,904,512	854,506	1,624,511	1,628,499	771,042	0	7,783,070
事業人件費計	128,944,250	32,850,650	88,291,069	89,777,274	44,925,964	0	384,789,207
報償費	231,000	140,475	506,606	363,368	1,840	2,306,461	3,549,750
消耗品費	3,233,044	744,221	1,753,219	1,748,674	521,904	1,942	8,003,004
食材費	5,145,735	8,842	1,292,141	3,165,975	2,142	0	9,614,835
修繕費	183,240	3,175	5,628	733,100	0	0	925,143
燃料費	1,957,225	259,267	828,179	764,967	79,790	10,875	3,900,303
水道光熱費	1,973,579	600,000	1,707,828	1,210,742	443,662	0	5,935,811
保険料	237,580	64,500	478,340	219,670	114,580	3,525,139	4,639,809
備品費	440,000	614,235	613,960	853,283	121,000	116,600	2,759,078
車両費	1,501,952	390,320	1,201,347	1,525,858	854,661	0	5,474,138
使用料	2,381,912	637,511	1,153,163	1,583,033	471,360	776,440	7,003,419
地代家賃	2,500,000	0	0	1,900,500	566,050	0	4,966,550
旅費交通費	2,200	0	4,220	6,280	△ 1,524	0	11,176
減価償却費	13,527,558	61,322	6,471,820	10,270,865	1,941,437	0	32,273,002
雑費	4,900	0	34,155	1,540	0	0	40,595
その他事業費合計	33,319,925	3,523,868	16,050,606	24,347,855	5,116,902	6,737,457	89,096,613
事業費計	162,264,175	36,374,518	104,341,675	114,125,129	50,042,866	6,737,457	473,885,820
役員報酬	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
事務人件費計	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
委託費(事務)	7,500		3,503,500	308,983	0	92,500	3,912,483
福利厚生費(事務)	225,500	72,274	166,304	195,669	97,024	88,000	844,771
研修費(事務)	87,410	8,000	43,000	18,000	29,000	0	185,410
渉外費(事務)	43,274	6,013	7,978	8,782	13,800	82,097	161,944
会議費(事務)	36,944	974	0	0	0	49,444	87,362
通信費(事務)	376,851	129,628	449,422	354,756	383,036	150,343	1,844,036
新聞図書費(事務)	11,900	17,150	20,700	13,680	30,800	0	94,230
広告宣伝費(事務)	124,842	0	77,000	0	0	485,100	686,942
諸会費(事務)	0	0	0	20,000	0	33,000	53,000
支払手数料(事務)	295,819	70,619	101,936	124,988	10,135	673,149	1,276,646
租税公課(事務)	4,800	0	4,500	79,400	6,410,000	1,773,470	8,272,170
寄付金(事務)	0	0	0	0	0	2,000,000	2,000,000
支払利息(事務)	1,068,705	0	18,114	0	0	0	1,086,819
その他事務費計	2,283,545	304,658	4,392,454	1,124,258	6,973,795	5,427,103	20,505,813
事務費計	2,283,545	304,658	4,392,454	1,124,258	6,973,795	7,227,103	22,305,813
運営健全化調整費							0
経常経費計	164,547,720	36,679,176	108,734,129	115,249,387	57,016,661	13,964,560	496,191,633
経常損益	31,608,149	2,777,754	△ 4,549,900	18,823,259	4,811,330	△ 5,581,155	47,889,437
固定資産除却損	1						1
経常外費用計	1	0	0	0	0	0	1
収支差額	31,608,148	2,777,754	△ 4,549,900	18,823,259	4,811,330	△ 5,581,155	47,889,436
国庫補助金積立額戻入	△ 3,037,282	0	△ 5,178,907	△ 2,937,562	△ 1,528,043	0	△ 12,681,794
実質的経営損益	34,645,430	2,777,754	629,007	21,760,821	6,339,373	△ 5,581,155	60,571,230

令和5年度 貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日 現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金 額		
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金	215,678		
普通預金	239,936,992		
郵便貯金	3,856,050		
未収入金	95,495,688		
仮払金	682,914		
流 動 資 産 合 計		340,187,322	
固 定 資 産			
建物	329,531,041		
建物付属設備	44,254,832		
構築物	17,918,211		
車両運搬具	11,057,688		
工具器具備品	8,832,937		
水道施設利用権	1,368,003		
固 定 資 産 合 計		412,962,712	
投 資 等			
出資金	1,000		
差入保証金	20,000		
長期前払費用	1,026,667		
保険積立金	9,130,539		
投 資 等 合 計		10,178,206	
資 産 合 計			763,328,240
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	29,583,393		
未払法人税等	10,819,800		
未払消費税	1,756,200		
預り金	10,416,002		
流 動 負 債 合 計		52,575,395	
負 債 合 計			
固 定 負 債			
長期借入金	135,658,000		
流 動 負 債 合 計		135,658,000	
負 債 合 計			188,233,395
III 正味財産の部			
指定正味財産	167,217,937		
指定正味財産計		167,217,937	
国庫補助金積立額			
前期繰越正味財産	358,125,478		
当期正味財産増加額	49,751,430		
一般正味財産計		407,876,908	
正 味 財 産 合 計			575,094,845
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計			763,328,240

令和5年度 財産目録

令和 6 年 3 月 31 日 現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
流動資産			
現金・預金			
さわおと現金	75,138		
ひまわり現金	36,826		
利府こども現金	1,826		
あかいし現金	101,888		
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 5271002	224,363,406		
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 9110305	6,064,652		
七十七銀行利府支店(普) No 5007287	9,508,934		
郵便貯金 18110-30532021	3,856,050		
未収入金			
給付費	86,433,165		
その他	9,062,523		
仮払金	682,914		
流動資産合計		340,187,322	
固定資産台帳	412,962,712		
固定資産合計		412,962,712	
投資等			
出資金 東北自動車共済	1,000		
差入保証金 セコム㈱	20,000		
長期前払費用 扶桑電通	1,026,667		
保険積立金 マニユライフ生命	9,130,539		
投資等合計		10,178,206	
資産合計			763,328,240
II 負債の部			
流動負債			
未払金			
令和6年3月分給与	16,804,275		
その他	12,779,118		
未払法人税等	10,819,800		
未払消費税	1,756,200		
預り金			
令和6年2月・3月 社会保険	8,468,261		
令和6年3月 源泉所得税	941,841		
令和6年3月 住民税	950,900		
財形貯蓄	55,000		
流動負債合計		52,575,395	
固定負債			
長期借入金			
福祉医療機構	1,830,000		
福祉医療機構	79,404,000		
地域総合整備資金	15,240,000		
七十七銀行	39,184,000		
固定負債合計		135,658,000	
負債合計			188,233,395
正味財産			575,094,845